

【 本日のセミナーで新しく知ったこと、勉強になったこと 】

市町村の肝炎の検診状況がわかりました

新薬の開始時期・検診の結果、要精査の受診率が低かったので受診の必要性を伝えることが大切

医療機関で保健所を通さずとも、直接受けられるようになって良かった

ウイルス検査の受診状況がよく分かった（エコー検査が含まれているのが良いと思った）

実務レベルのことが聞けて良かった

現場で活かすことが未だ出来ていないため、知識不足が多いので、非常に勉強になった

市町村や健診センターでの取り組みについて知ることができた

肝炎の治療について、治療が日々進歩しているということがわかりました

新薬について〈種類が多くて覚えられません〉

受診者が1/2程しかいないとのことに驚いた

3題とも勉強になりました

新薬について。新薬の効果

最新情報を知り勉強になりました

毎回セミナーにていろいろな取り組みを知れて、勉強になります。回を重ねるごとに受検→受診→受療の連携が取れてきているように思われます

新薬は副作用が少なくなったこと。産まれてすぐに全ての赤ちゃんにワクチンをうつこと

効率よく肝炎検査をする方法について

最新の情報。久しぶりに参加しましたが、清家先生の熱意が伝わってきました

行政の啓発活動は、まだまだ不十分に感じました。啓発しているけれど受検者がいないのは、行政の自己満足な活動に終わっているだけかと。市民に対しての活動方法の検討を望みます

肝炎の内服治療について知りたいことが分かり、参加してよかった

保健所の検査では個人情報あまり詳しく確認しないようになっていること

検査は無料だが、医療機関では初診料等が必要になることがあるということ

肝がんにならないように肝炎の早期発見、早期治療の必要性

コーディネーターの役割

新薬のこと。市は、かなり力を入れていろいろと対策をしていること

C型肝炎の治療の最新情報がわかり勉強になりました

他施設のことがわかり、肝炎治療のこともわかりよかった

I F Nの他に内服薬での著効率の高さ、良い薬が出ていることがわかりました

人間ドックや検診でB型、C型肝炎が見つかることもあるし、医療機関での採血も必要だと思いました

【 C型肝炎の最新情報 】

新しい薬がでていることがわかりました

内服の禁忌事項などがわかりました

専門的な治療薬のお話は難しかったが、99%の方が治療で治ることがわかりました。コーデイナーの役割4点はよくわかりました

最新情報聞けました。また、コーデイナーの役割確認ができて良かったです

このセミナーに参加すると、毎回新しい情報が聞けるのでありがたいです。スライド資料をHPにでもアップしていただけると嬉しいです

経口抗ウイルス薬のことが良くわかりました。継続した経過観察が必要だと感じました。治療の見直しは大切だと思いました

新薬の最新情報、治療効果、副作用などが知れて良かった。勉強していくと共に、治る病気になったということを機会があれば、身近な人から情報提供していきたい

C型肝炎の新薬の情報で、禁忌 etc の情報が分かり良かったと思います

新薬の話はとても興味深く良かった

いつもわかりやすい講義で助かります

現在の治療方法を知り良かったです

新薬の情報を、もう少し時間をかけて、ゆっくりと説明して頂けるとありがたいです（今、1番聞きたい情報です）

新薬、効果、副作用などが聞けて、とてもためになる

1b型の治療がよくわかった

発癌抑制のため、抗ウイルス薬での治療の必要性を、毎回感じさせられます。自院で整形外科に入院中の患者さんが、発熱が続き、腹部CT、ソナゾイドエコーの結果HCCが疑われました。カルテをよく調べるとC型肝炎陽性でした。コーデイナーとして、消化器の患者さん以外の感染症把握の重要性を改めて感じました

大変参考になりました。治療の意味が理解でき、注意することで患者さんに対して看護にいかせると思います

最新の治療の様子がわかり、すごく良かった

治療の継続はとても大切だと感じました

C型肝炎について最新の治療について興味を持っていきたい。まだまだ知識不足です

【 事例1：大分市の肝炎ウイルス検診の現状と課題 】

平成27年より、特定感染症検査事業に基づく事業が開始されたことは認識していませんでした。啓発することの大切さが分かり、検診について見直していきたいと思います

市と医療機関の連携や、陽性者のフォローアップがスムーズになると良いと思った

行政の行う肝炎対策の振り返りができた

いろいろ肝炎に対することをされていることが分かった。患者さんが迷う時等、情報を提供できたらと思う

肝炎ウイルス検診の環境整備が、大分市は出来ていると話されていましたが、まだまだと感じます。自治会の健康推進委員も名前ばかりで啓発活動を見かけたことはありません

現状が分かって勉強になりました

役所的事業についての知識が薄いことを認識しました。行政で行っているサービスをしっかり説明できる様に、情報を押さえていきます

大分市の保健所でのウイルス検査は、各自で申し込むため、受検率を上げるのは大変だろうと思いました

50%受検？だが、実際は受けたが興味がなく覚えていないのが事実では？大切さを理解していただくことが大切かと思う

市役所での検診方法や内容がくわしく聞けて良かったです。患者さんから説明を求められた時の為に、スライド内の情報を紙面にしてもらえたらありがたかったです。メモをする時間がありました。

病棟勤務のため、いろいろな人に検査を受けてもらうための声かけをどうしていったらよいか、考えさせられました

陽性者フォロー事業を始めて知りました。他の保健所でも行っているのか、調べてみたいと思います

精密検査や定期検査の助成金が下りることを、理解できて良かったと思います

未成年者への啓発は、これから特に大事だと思う

医療費の助成は助かりますが、少し手続きが大変な感じがします

推進員さんを活用した声かけ、参考になりました

休日検診が出来るようになると良いと思う。ウイルス検査を受けたか、受けていないか、わからない人が結構多いのでは？認識を高めるためにどうしたらよいか？

今日の話にもあったように、何度も受ける必要のない人が、数回、検査を受けないように徹底したほうが良いと思います。そして、まだ受けていない人の掘り起しに力を入れたほうが良いと思います

【 事例2 厚生連健康管理センターにおける肝炎の取り組み】

腹部エコーの効果がとてもよくわかりました

ウイルス検査だけでなく、肝機能検査や超音波検査から、B型C型肝炎が発見できることがわかりました

肝炎検査の勧奨をより一層して頂きたいと感じました

業務内容や施設の内容など知ることが出来て良かった（温泉ケアや当日に結果がわかること等）
当日結果の説明が受けられ、異常があれば説明を受けながら、次につながるのがいいなと思います。良いシステムだと思いました

検診者が増えないというフレーズを毎回聞きます。私も同感で、事実、私の家族も職場検診で肝機能の数値が高いと指摘され、精密検査を受けるように言われても、なかなか病院に行きません。せっかく検診してもこれでは無駄だと感じます。もっと一般の方に掘り下げて、病気の怖さや、治療法、興味が出るようなことを工夫するべきと感じます。

年間の検診者数にびっくりしました。当院も見習わなければと思いました

当院も職員の健康診断を勧めています。その際にC型肝炎の抗体検査を、是非行っていただけるように取り組みたいと思います

宿泊施設などは、興味がわき受検率が上がるような気がします

内容が非常にわかりやすかったです

自院でも人間ドックや企業の健康診断を行っていますが、感染症の方の洗い出しもしておらず、ただ本人や企業に返すだけです。今後は企業の保健師さん等も連携していく必要があると感じました

検診により発見される肝疾患がかなりあるのだなという印象を受けました。重要性を感じました
検査後のフォローアップのため、未受診の方に1か月後、3か月後に受診を促すレターを出していることは大事だと思いました。2回きたらさすがに受診しようかなという気になると思います
健診の大切さを外来の患者さんに勧めていきたいと思いました

陽性者へのフォロー体制をもう少し詳しく聞きたかった

【 コーディネーターに対してどのような活動を期待しますか 】

B型、C型の検査を勧めること

受診や検査への啓発

医師と連携しよりよくその患者さんに合った治療を提供すること

地域ごとでの身近な人からの啓発、情報提供（医療機関以外でも）